第3学期 学校教育自己評価 集計結果

北九州市立二島小学校

く4:よくできた 3:おおむねできた 2:あまりできていない 1:できていない 単位は人>

「二鳥小学校の学習規律」の定着について(児童の様子を振り返って)

「一曲小子次の子目が注」のた名について(元重のは)を扱うたって							
	評価項目		3学期	2学期	1学期		
①学習が如	冶まる前に準備をしておく。	1	3.0	3.1	2.9		
	ムに従って行動する。(チャイム席を守る。)	2	3.5	3.3	3.2		
③正しい質	姿勢で学習する。	3	2.8	2.6	2.9		
④ノート	は右、教科書は左、筆箱は上に置く。	4	2.9	3.0	2.6		
	⑤手は、ひじを伸ばして真っ直ぐ挙げる。	5	2.9	3.0	3.1		
話	⑥名前を呼ばれたら、大きな声で「はい」と返事をす	6	3.1	2.9	3.0		
	⑦指名されて発言する。	7	3.1	2.9	2.6		
し	⑧発表するときは静かに立つ。	8	3.4	3.0	3.4		
	⑨みんなが聞いているか、確かめてから発表する。	9	2.6	2.7	2.4		
方	⑩最後まできちんとした言葉で話す。「です」「ます	10	3.1	3.0	2.8		
	⑪声のものさしを守る。 (となり・グループ・全体)	(11)	2.8	2.9	2.5		
閉	⑩話をしている人に体を向ける。	12	3.0	2.7	2.5		
聞 き 方	⑬話は最後まで聞く。	13	2.8	2.7	2.7		
方	(4)話を聞いたら、それに答える。「同じです」「付	<u>(14)</u>	2.9	2.7	2.7		
	け加えます」など						
書	⑮ノートには日付を入れる。	15)	3.1	2.9	3.1		
書 き 方	⑩鉛筆は正しい持ち方で持ち、ノートをおさえて書く	16	3.1	2.7	2.7		
方	⑩下じきをしいて書く。	17)	2.7	2.5	2.4		

2 確かな学力の向上に向けた取組について〈思考力・判断力・表現力の育成〉〈言葉と体験を 重視した学習指導〉

<u> </u>				
評価項目		3学期	2学期	1学期
(1) 全ての教科等において、自分の考えを書く活動や伝え合う活動を位置付けた授業づくりと、ノート指導の充実とその評価の工夫に取り組み、児童一人一人の確かな学力の定着を図ることができた。	1	2.9	2.8	2.8
(2) 家庭学習の内容と評価の工夫に取り組み、児童一人一人 の基礎的・基本的な知識・技能の習熟を図ることができた。	2	3.1	2.9	3.0
(3) 体験的な活動や問題解決的な学習を重視し、児童自らが 学び取っていく過程の中で知識・技能の習得を図ることができ た。	3	3.0	2.9	2.8
(4) 歯と口の健康教育研究大会を手段に、特別活動や保健教育の充実を図ることができた。	4	3.1	2.9	2.7

3 心の育ちを推進する教育の充実に向けた取組について

評価項目		3学期	2学期	1学期
(1) 本気の学級目標をもとに目標設定し、常に学級目標を振り返りながら教育活動を行うことができた。	1	3.5	3.1	3.1
(2) こころのアンケートの適切な活用及び家庭・保護者との 連携を深め、一人一人の児童理解を深めることができた。	2	3.3	3.2	3.1
(3) 学校の教育活動全体を通した道徳教育を推進し、思いやりの心、きまりを守る規範意識の醸成を目指して指導に当たることができた。	3	3.4	3.2	3.1
(4) わたしたちの道徳を活用するとともに、書く活動や語り合う活動など自己の心情や判断等を表現する機会を充実させ、 一人一人の自己指導能力の育成に努めることができた。	4	2.9	2.6	2.6

4 特別支援教育の充実に向けた取組について〈全校体制による特別支援教育の充実〉

_ サート						
評価項目		3学期	2学期	1学期		
(1) 児童の実態を十分に把握し、一人一人の特性に応じた適切な指導・支援に努めることができた。	1	3.1	3.2	2.9		
(2) 特別支援学級の児童の実態や指導について、全教職員の 共通理解を深め、連携を密にし、効果的な交流及び共同学習を 行うことができた。	2	3.2	3.0	2.8		
(3) 通級指導教室担当教諭と連携し、アドバイスを生かすことで児童理解や個に応じた指導・支援の充実に努めることができた。	3	3.3	3.2	2.9		
(4) 特別支援コーディネーターを中心とした特別支援校内委員会等(情報交換会・生徒指導部会)を活用し、全教職員の共通理解のもと支援の工夫に努めることができた。	4	3.0	2.9	2.6		

5 教師の専門性を高める研修の推進について

評価項目		3学期	2学期	1学期
(1) 「教えるプロ」としての専門性を高めるとともに、幅広い教養と見識を身に付けるための研修に積極的に取り組むことができた。	1	3.0	2.9	2.8
(2) 児童の学力の向上を目指して、教材研究や指導・支援の 工夫による授業の改善に努め、授業公開を基本とした研修(主 題研究等)に積極的に取り組み、自らの授業力の向上に努める ことができた。	2	3.2	2.9	2.8
(3) 全教職員で初任者及び若年教員の指導に当たり、お互いに高め合う学校風土の醸成に努めることができた。	3	2.7	2.8	2.6

6 発達の段階に応じた連続性のある教育の推進について

評価項目		3学期	2学期	1学期
(1) 小中一貫・連携教育において「9年間を通じた学習指導・生徒指導の推進」に努めることができた。	1	2.9	2.7	2.4

7 危機管理意識の向上について

評価項目		3学期	2学期	1学期
(1) 教育公務員としての規律を守り、信用失墜行為等の徹底した防止に努めることができた。	1	3.8	3.8	3.6
(2) 「危機管理のさしすせそ」や「ほうれんそう(報告・連絡・相談)」を意識した積極的な生徒指導、未然防止を重視した生徒指導に努めることができた。	2	3.8	3.9	3.6